

学びの変容を実感できる理科授業

— 1 枚ポートフォリオの活用 —

○土屋 恵一

TSUCHIYA Keiichi

東京都中央区立城東小学校

【キーワード】 1 枚ポートフォリオ評価, 本質的な問い, 学習履歴, 自己評価, 変容

1 はじめに

本研究では、学びの変容を子どもが実感できる理科授業を考察していくための方法として堀哲夫考案の OPP シート (One Page Portfolio) を活用する。OPP シートの記述から、児童の見方や考え方が 1 つの単元を学習していく中で、どのような思考を辿って科学的な見方や考え方へ変容していくのかを見取り、子どもが学びの変容を実感できる理科授業をつくっていききたい。

2 研究の方法

小学校第 4 学年「人の体のつくりと運動」の単元で OPP を活用した授業実践を行った。OPP シートは A3 用紙 1 枚に単元を貫く「本質的な問い」、「学習履歴」、「自己評価」から構成される。

(1) 本質的な問い

学習前後に同じ問いに答える。学習前は診断的評価となり、学習後には統括的評価となる。

本単元では「骨」「筋肉」「関節」という 3 つの科学用語を習得し、それらの 3 つが体を動かすときにどのように関わっているかを理解することを目標としている。その理解度を図る「本質的な問い」の設定が重要となる。

(2) 学習履歴

各授業の題名と、その授業で「1 番大切だと思うこと」を記入する。授業者にとっては学習者がこの時間に何をしたのか形成的評価となる。

学習履歴を振り返り、この単元で何を学習し

(3) 自己評価

たのか、どう変容したかを評価する。

3 結果

学習前と学習後を比較し、単元の学習を通して自分の記述が変わっていることに気が付き、全員の児童が学びによる自身の変容を実感している記述が見て取れた。

4 成果と課題

(1) 学びとは見方や考え方が変わることである。授業を行っていく場合、これから学ぶ単元の内容について子どもがどのような見方や考え方をもっているかを把握することが重要になる。OPP シートの活用により、学習前に児童の実態を把握することによって、綿密な授業計画を作成し学習後に変容を見取ることができた。

(2) 「学習履歴」の記述から子どもの思考を見取り、指導計画を柔軟に変更することができた。また、子どもにとっても自分の学びが 1 枚のシートに整理されているために、子どもが自分の学びによる変容を実感することができた。

(3) 本研究では「本質的な問い」として「あなたが体を曲げたり、重たいものをもったりするのはなぜですか？あなたの考えを書きましょう。」を設定した。しかし、この問いから「骨」「筋肉」「関節」の 3 つの用語を使う必然性はないように思う。単元の本質を授業者が見極め、どのような問いを設定するかが課題となる。